

△ 1 講 私の中にーシステム 24・25・00 (I サム 16:1-13)	△ 2 講 産業の中の一干やぐらと神殿準備 (詩 23:1-6)	△ 3 講 教会の一干やぐらと神殿準備 (I 歴 29:10-14)
皆さんの産業が 1 千やぐらを建てて、教会の中に 1 千やぐらを建てる ことができれば良い。また、次世代を生かす神殿準備をすれば良い。その ために、祈りの中にまず先にシステムが作られるべき。24 になる祈りシ ステムが出て来てこそ 25・永遠になって、一心、全心、持続、ただ、唯 一性、再創造で世界福音化されるしかない。 重職者 1 時代は、システム 24・25・永遠を回復すること □序論_序論 1. 朝、目を開けば、この祈りの中で 7 道しるべを味わい始め ※序論が解決されれば良い。これが解決されないから本論に入ることが できない 2. 昼には 7 旅程を味わう祈り 3. 夜に完全 7 やぐらを味わう祈り △皆さん 24・25・永遠がシステムになれば、完全に力が与えられる。 [バトン] この祝福を他の人が見るように [24 味わう] 重職者が回復すべきまことの幸せを見つけない。 [25 が答え] 神の国のこと [永遠証人] 福音を伝えることだけが永遠のこと 今も安らかに呼吸して祈ることができほど呼吸をしなさい。 □本論 1. 重職者の始まり 7・7・7 をどのように味わうのか 1) レムナント 7 人の重職者は危機の時ごとに神様が答え (1) ヨケベデ、イテロ (2) ハンナ、エッサイ (3) シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ、ダニエル、エステル (4) 初代教会 2) 女たち (1) イエスの家系図の中に 4 人の女性 (2) イエスの働きの中にまことの献身をした女たち (3) パウロを本当に助けた人の中で女たち 3) この人々は、絶対不可能な状況だ。7・7・7 の力を味わっているの で、だれも止められない 2. 重職者のターニングポイント (重職者参加) 1) 使 11:19 重職者に 7・7・7 するために、ものすごいターニングポイ ントを与えられた 2) 使 13:1-4、使 16:6-10、使 19:21 初めての宣教の働きにパウロが聖 霊の導きを受けることに参加 3) ロマ 16:25-27 驚くべき時代的ターニングポイントの中に参加 3. 重職者の使命 1) 使 17:1 すべての次世代にキリストの当為性を証し 2) 使 18:4 すべての次世代に正しい福音と祈りを教えること 3) 使 19:8 すべての次世代にまことの答え。神の国を教えること □結論_重職者 1 時代 [未来教会時代]最初の未来教会後援時代を開こう 1. 礼拝の時ごとに必ず答えを受けて祈れるほどの答えと宿題を見つけない さい 2. 礼拝が終わって深い黙想で癒やしが起こるべき 3. 重要なメッセージを握って決断 この決断を下すとき、答えは最も正確な時に来る。	重職者は一生の祈りの課題を探し出せば良い。皆さんの職業と産業の中 に 1 千やぐらを建てて、神殿準備の答えを受けるためには、一生 [24] [25] [永遠] をすれば良い。 □序論 1. ダビデは 1 千やぐらを建てるのに 24 した。 1) 1 千やぐらに見張り人を立てて 2) 光を放つのだ。 3) 祈り場になる見張り台を建てた。 2. 一生神殿準備した。 一生を計算して献金を定める必要がある。次世代の前で私の人生をさ さげるのだ。 1) 237 を生かす力を育てなければならない。イエスが聖霊の満たしを 約束された。 2) 237 を癒やす神殿が必要だ。 3) 次世代を霊的サミットにすれば良い。そうでなければ、出て行って 成功しても難しい。 3. 韓国では 5 千種族に行くことはできない。 1) 5 千種族が奴隷として来ている所に奴隷で行った。 2) 237 と 5 千種族がいる強大国に捕虜になって行った。 3) 5 千種族がいる所に流浪の民として散らした。 □本論_一生の祈り 1. サムエルから聞いてメッセージを正確に握った。 1) 契約の箱の話を聞いて 2) 神殿と 3) やぐらを建てることを決断した。 2. ダビデの生涯 1) 羊飼いであったとき (詩 78:70-72) この (I サム 16:1-13) 契約を握った 2) 青少年のとき、ゴリヤテに会って勝った (I サム 17:1-47) 3) 青年の時期に、とても難しかったが、詩篇 23 篇を告白した。 4) 王の時期に、本格的にやぐらを建てて神殿を準備した。 3. 産業のやぐら 1) 勝利 ペリシテとすべての国に勝った。 2) 全国にやぐらを建てた。 3) 世界福音化しなければならない国の建設に神殿を作った。 □結論_金土日時代 (RT7) 重職者は、未来教会時代を開いて金土日時代の主役になりなさい。人材 を見つけて世界福音化するように助けなさい。レムナント 7 人を助けた 重職者のように、本格的な祈りが始まる必要がある。 □決断_三つの準備 (詩 23:1-6) 1. 学業 (詩 78:70-72) 一信仰と技能、霊性と知性を並行させれば良い。 1) レムナントが、ただを発見して 2) 唯一性を味わって 3) 答えがなくて、苦難があっても、再創造に挑戦する必要がある。 △レムナントがただを発見できなければ、仕えることしかできない。た だを発見すれば、リーダーとなる。 2. 三つの経済が出てくる。 1) 光の経済 2) 伝道と宣教経済 3) 未来を生かす RT 経済だ。 3. やぐらを建てなさい。 1) 雅 4:1-5 人材を育てれば 1 千やぐらはすぐに建つ。 2) I 歴 29:10-14 三つの庭がある世界を生かす神殿を準備しなさい。	□序論 All-in、All-out、All-Change これが続けて祈り 1. 私の中にー7 やぐら [時空超越] 1) 三位一体の神様が私の中に (刻印) 2) 御座の力 (根) 3) 5 力 (体質) 4) 宇宙の力 (産業) 5) 3 時代 (リーダー) 6) CVDIP (モデル) 7) 3 庭 (主役) 2. 私の中にー7 旅程 [道] 三位一体の神様が行かれる道へ働き、10 の奥義 で生き残る証人、どんな理論も神様のみことばを変えることはできな い 10 土台、危機の時ごとに勝利を与えられる神様 (5 確信)、流れを変 えること、一生の答え、行く所がキャンプ 1) 残りの者祈り 2) 巡礼者祈り 3) 暗闇を砕く征服者の祈り 3. 私の中にー7 道しるべ [背景] 1) カルバリの丘-私たちが解決できないすべてのとが、わざわざ終わり 2) オリーブ山-祈りの中で毎日神様のミッションと神の国のこと 3) マルコの屋上の部屋-力 4) アンティオキア-絶対的な導き 5) アジア-聖霊導きを完全に受けることが基準 6) マケドニア-毎日人生ターニングポイントを発見 7) ローマ-人生、職業の中心 □本論 1. 祈りの人 1) 祈り 24・25・00 (1) ただ発見 (2) 唯一性答え (3) 再創造 2) 教会 24・25・00 (1) 一心-複雑 x (2) 全心-人間中心主義 x (3) 持続-神様の祝福逃す x 3) 産業 24・25・00 (1) 当然-世界福音化 (2) 必然-だれがするの (3) 絶対-どのようにするのか 2. 一生の準備 1) 絶対始まり (羊飼いの時) 2) 絶対やぐら (雅 4:1-5) 完全に神様の導きを受けること 3) 絶対神殿 (I 歴 29:10-14) 3. 神殿準備 1) 異邦人の庭 2) 祈りの庭 3) 子どもたちの庭 □結論 [三つの庭時代] [未自立教会時代] [金土日時代] 24 すれば 25 が来 て、作品を残すようになる。 □決断-見張り人の絶対やぐらを建てなさい。7・7・7 All-in、All- out、All-change する、まことの福音を味わう絶対見張り人を立てなさい 1. 絶対やぐらを建てる。 1) 1 千やぐら 2) 神殿準備 3) 24・25・永遠の見張り人を立てることができる。 2. 絶対内容を持つ。 1) プラットフォーム-来るしかないようにさせなさい。 2) 見張り台-光があるから生かされる。 3) アンテナ-疎通できるので、続けて実が起こる。 3. 絶対弟子を立てることができる。 1) 福音を知る者-理由、罪に定める、戦う x 2) 祈りを知る者-力がある 3) 7・7・7 分かる者 △聖書にあるまことの答え回復、教会になくなった福音回復

△区域メッセージ (第 49 週) 天国の影である教会と 25 の答え (使 1:3-8)	△聖日 1 部礼拝 とりなしの祈りの力 (1 テモ 2:1-7)	△聖日 2 部礼拝 真理の柱と土台 (1 テモ 3:15-16)		
□序論_主日 1. 世の中の心配をせず、主日だけでも、ただみことばを握る必要がある 2. イエスもただ祈って待ちなさいと言われた。 3. ただ聖霊が臨めば、地の果てまで証人になると言われた。 4. ただ癒やしが私たちの中に起こる必要がある。 5. 答えを受けるか、質問を持って来る必要がある △ヨハ 14:26 聖霊が臨めば、あなたがたを悟らせる。 ヨハ 16:13 教えたことをすべて思い起こさせて、分かるようにされる。主日だけでも他のことを考えずに続けて祈る力を受けるべき。天国の御座、この影が教会だ。24 時間が私たちに与えられたが、25 答えを受ける必要がある。 □本論 1. 教会とは何か 1) 教会は御座の力を味わう影で、停留所だ。 (1) 創 13:18 信仰の先祖アブラハムが御座の力。祭壇を築き始め (2) 創 22:1-19 イサクがいけにえとして献げられようとしたが、生かされたモリヤの事件が教会だ。 (3) 創 28:10-24 ヤコブが逃げて油を石に注いで神様に祈って誓願したが成就 (4) 創 37:1-11 ヨセフは早く霊的力を受けて、時間が経つほどみことば成就するのを見た。 (5) 1 サム 16:1-13 サムエルがダビデに与えた重要な契約を一生味わうべき祈りの課題として握ったが、その時間に主の霊がダビデに激しく臨んだ (6) ダニ 6:10 ダニエルがいつもしているとおりにしたが、知恵が与えられて現場を生かした (7) 使 2:1-47 マルコの屋上の部屋で礼拝する中で力が、この力を味わうことが教会だ。 2) 祝福 (使 1:3) 教会は御座の影の中にあるだけでなく、これに対する祝福を味わうこと 3) 伝達 (使 1:8) この祝福を伝達することだ。力を受けると約束された 2. 祈り-祈りが何か分かる必要がある。 1) 三位一体の神様が私に働かれること 2) 御座の祝福が私に臨むのを味わうこと 3) 3 時代-絶対に無くならない過去、現在、未来が神様の祝福に変わる 3. 癒やし-医師が直すことはできない根本的に癒やしが起こる。 1) 祈りのリズムを見つかることが癒やしで、癒やしの始まり 2) 定刻-現場で祈りを味わうこと 3) 24・25・永遠-ある日一人で 24 に成り立つが、サミットになったのだ。すると学業に職業に産業に、何もしくなくても永遠という作品が出て来るが、これがまことの癒やしだ。 □結論_職業 世界福音化-この力が私たちの職業、学業に、産業に現れるが、これが世界福音化だ。	□序論 ※神様を信じて、わたしを信じて、御座の背景があるので、助け主聖霊があなたを導かれるので、心を騒がせてはならない。 1. 祈りが分からなければ勉強も社会生活も大変で限界が来る。 2. 信じて祈り始めてみなさい。最も良くない条件、最も不安なことが答えの始まり □本論_三つの祈り 1. イエスが教えられた祈り 1) 7 やぐら (1) 三位一体の神様の力が私の中に。私の考え、心、たましい、からだの中に (2) 御座の力が私に臨むように (3) 過去、現在、未来、3 時代の力を私に (4) (5 力) (5) 空中の権威を持つ支配者に勝つ宇宙の力が今、私の中に臨むように (6) 私の中に神様が与えられるあらかじめ CVDIP 見る答えが私に (7) 三つの庭を動かすことができる力を今、私の中に 2) 7 旅程 (1) 三位一体の神様が働くその道を私に見せてください。 (2) 必ず勝利できる 10 の奥義、私に臨むように (3) どんな場合にも揺れない 10 の土台が私に臨むように (4) 必ず勝利できる 5 つの確信、私に (5) 戦わずに世の中変える 9 つの流れ、私の中に臨むように (6) 一生の答えが私に臨むように (7) すべての行く所に御座のキャンプが起こるように 3) 7 道しるべ (1) すべてのわざわい、呪い、失敗、暗闇がみな崩れるようにカルバリの丘の契約が私に (2) イエスが説明されたオリーブ山の 40 日の御座の力が今私に (3) マルコの屋上の部屋の力が今私に臨むように (4) アンティオキアの使命が今私に力で臨むように (5) パウロチームが行ったアジアのその力が私に臨むように (6) 人生のターニングポイントを成し遂げたマケドニアの力が今私に臨むように (7) ローマも見ることが出来ますように。 2. とりなしの祈り-他の人のための祈り 1) すべての人のために (1 節) 2) 王、偉い人のために (2 節) 3) 異邦人のために (7 節) 3. 世界福音化の力を味わう祈り (7 節) 1) 御座の力が臨むので 2) 時空を超越するので 237 になる。 3) 空前絶後の答えを持ってくるので □結論_熟 8:3-5 祈りは天の御座に録音 1. 24 祈りの人ジョージ・ミュラー 2. 祈りの人ムーディー-祈りは霊的科学、霊的 DNA を変えて、再創造の働きが起こること 3. 礼拝に成功したロックフェラー-礼拝のとき、ただ祈り ※行く所ごとに神の国が臨んで生かす者、癒やす者になる。続けて呼吸をしながら、やぐら、旅程、道しるべを祈りなさい。	16 節「敬虔の奥義は偉大です」 7 やぐら、7 旅程、7 道しるべ「祈りシステム」をそろえれば答えが来る。 サミット (24) -たましいの中に 7 やぐら、旅程、時刻表が刻印されれば、どこへ行っても大丈夫な答えが来る。成功する前に霊的サミットからなる必要がある。 基準-神の国 (25) -答えの基準はだれも止めることができない神の国 (25) 作品 (永遠) -私たちの目標は神様の作品を成し遂げること (永遠) そうすれば、皆さんと教会が人を生かす「真理の柱と土台」となる。 □序論 1. 崩れた人々 (1-14 節) 1) アメリカ-麻薬、中毒、殺人 2) ヨーロッパ-自殺 3) 韓国-犯罪増加 2. 原因 (霊的問題があったので、ここに陥った) 1) 麻薬 2) アルコール 3) ギャンブル 3. 方法がない 1) 法律の通りする 2) 犯したとおりの報酬 (宗教) 3) 烙印 (社会) △唯一福音持っている人が答えを提示-真理の柱と土台に来なさい。 <table><tr><td>ただ福音だけが</td><td>1. 癒やし 2. 赦し 3. サミット可能</td></tr></table> □本論_真の福音を味わって与える教会 1. 運命癒やし 1) エジプト (出 3:18) -血のいけにえを献げて出るようにして、全世界に知らせなさい。 2) バビロン (イザ 7:14) -インマヌエルでこそ運命をひっくり返せる。 3) ローマ (ロマ 1:16-17) -この福音は救いを与える神様の力なので。この福音を信じる信仰によって生きる。 △キリストを知る瞬間、運命がひっくり返る。 2. 根源癒やし (16 節) -この事実を信じることによって 1) キリストが肉において現れ 2) 霊において義とされ 3) カ-御使い、世界中に伝えられ、世の中で信じられ、昇天 △これが実際に臨むならば、根源的な癒やしが起こる。 3. 持続治癒ができるべき 1) 三つの庭を作って持続 2) 金土日時代 (集中) -祈りの力 3) 三つの庭が 24 になるべき、この祝福が 25 で現れて永遠に残るべき □結論_聖書にある教会を作るべき 1. 霊的問題を持つ者が来て、力を受けて癒やされることができるよう 2. サミット訓練 1) 使 17:1 キリストの当為性 2) 使 18:4 祈り 3) 使 19:8 答え-神の国 3. 祈りの中でタラント発見 1) 短い時間に頭に釘付けることができる読書 (特に、指導者に関する本)-みことばで答えを出すこと 2) 世界を動かした人物の学び-キリストで答えを出すべき 3) 三つの祭りの意味を分かるべき (救い、力、背景)-祈りを知ようになる。 4) 礼拝-安息日を超えること。礼拝に成功すれば終わり 5) タラント-ただ 6) 専門性- 唯一性 7) 現場性 (現場を見るように) -再創造	ただ福音だけが	1. 癒やし 2. 赦し 3. サミット可能
ただ福音だけが	1. 癒やし 2. 赦し 3. サミット可能			